

# Gen

## Chapter 8

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

1  
כָּל- וְאֶת- הַחַיָּה כָּל- וְאֶת- נֹחַ אֶת- אֱלֹהִים וַיִּזְכֹּר  
すべての (を) 獣を すべての (を) ノアを (を) 神は すると-思い出された  
[H3605](#) [H0853](#) [H3605](#) [H0853](#) [H5146](#) [H0853](#) [H0430](#) [H2142](#)

הָאָרֶץ עַל- רִיחַ אֱלֹהִים וַיַּעֲבֹר בַּתֵּבָה אִתּוֹ אֲשֶׁר הַבְּהֵמָה  
地の (の)-上に 風を 神は そして-通した 箱船に 彼と-共に-いた (の)-ところの 家畜を  
[H0776](#) [H7307](#) [H0430](#) [H8392](#) [H0854](#) [H0929](#)

וַיִּשְׁכַּב הַמַּיִם:  
水は すると-引いた  
[H4325](#) [H7918](#)

神はノアと、箱舟の中にいたすべての生き物と、すべての家畜とを心にとめられた。神が風を地の上に吹かせられたので、水は退いた。

2  
וַיִּסְכְּרוּ מַעְיִנַת תְּהוֹם וְאֶרְבַּת הַשָּׁמַיִם וַיִּכְלָא הַגֶּשֶׁם מִן- הַשָּׁמַיִם:  
天から (から) 雨は そして-止まった 天の (から) そして-窓が 深淵の 源が (から) そして-ふさがれた  
[H8064](#) [H1653](#) [H3607](#) [H8064](#) [H0699](#) [H8415](#) [H4599](#) [H5534](#)

また淵の源と、天の窓とは閉ざされて、天から雨が降らなくなった。

3  
וַיִּשְׁבּוּ הַמַּיִם מֵעַל הָאָרֶץ הַלְלוּךָ וַיָּשׁוּב וַיִּחַסְרוּ הַמַּיִם מִקְצֵה הַמַּיִם  
百-五十の 終わりに 水は (から) そして-引いた 引いて 徐々に 地から (から) 水は (から) そして-引いた  
[H2572](#) [H4325](#) [H2637](#) [H7725](#) [H1980](#) [H0776](#) [H4325](#) [H7725](#)

וַיִּמְאָת יוֹם:  
日の 百の  
[H3117](#) [H3967](#)

それで水はしだいに地の上から引いて、百五十日の後には水が減り、

4  
וַתָּנַח הַתֵּבָה בַּחֹדֶשׁ הַשְּׁבִיעִי בַּשְּׁבַע־עָרָה יוֹם לַחֹדֶשׁ עַל- הָרִי  
山々の (の)-上に その-月の 日に 十の 第-十七の 第七の 月の 箱船は (から) そして-留まった  
[H2022](#) [H2320](#) [H3117](#) [H6240](#) [H7651](#) [H7637](#) [H2320](#) [H8392](#) [H5117](#)

אַרְרָט:  
アララトの  
[H0780](#)

箱舟は七月十七日にアララテの山にとどまった。

5  
וַהֲמַיִם הָיוּ הַלְלוּךָ וַיִּחַסְרוּ עַד וַיִּחַסֹּר הַמַּיִם בַּחֹדֶשׁ הָעֲשִׂירִי בְּעֶשְׂרֵי הַיּוֹם הַבְּאֵחָד לַחֹדֶשׁ  
そして-水は 徐々に 減って まで 減って 徐々に であった (から) そして-引いた 第十の 第十の-月に 第一の 月の  
[H2320](#) [H0259](#) [H6224](#) [H6224](#) [H2320](#) [H5704](#) [H2637](#) [H1980](#) [H1961](#) [H4325](#)

וַיֵּרָא נְרָא וְרָאשֵׁי הַהָרִים:  
山々の 頂が 現れた  
[H2022](#) [H7200](#)

水はしだいに減って、十月になり、十月一日に山々の頂が現れた。

6

הַתִּבָּה	חִלּוֹן	אֶת-	נֹחַ	וַיִּפְתַּח	יוֹם	אַרְבָּעִים	מִקֵּץ	וַיְהִי
箱船の	窓を	(を)	ノアは	そして-開けた	日の	四十の	終わりに	そして-あった
<a href="#">H8392</a>	<a href="#">H2474</a>	<a href="#">H0853</a>	<a href="#">H5146</a>		<a href="#">H3117</a>	<a href="#">H0705</a>	<a href="#">H7093</a>	<a href="#">H1961</a>

אֲשֶׁר עָשָׂה:  
作った (の)-ところの

四十日たって、ノアはその造った箱舟の窓を開いて、

7

יְבֹשֶׁת	עַד-	וְשׁוּב	יֵצֵא	וַיֵּצֵא	הָעֶרֶב	אֶת-	וַיִּשְׁלַח
乾くまで	(まで)	そして-帰り	行っては	すると-出て-行った	烏を	(を)	そして-送り出した
<a href="#">H3001</a>	<a href="#">H5704</a>	<a href="#">H7725</a>	<a href="#">H3318</a>	<a href="#">H3318</a>	<a href="#">H6158</a>	<a href="#">H0853</a>	<a href="#">H7971</a>

הַמַּיִם מֵעַל הָאָרֶץ:  
水が (から) 地から  
[H0776](#) [H4325](#)

からすを放ったところ、からすは地の上から水がかわききるまで、あちらこちらへ飛びまわった。

8

מֵעַל	הַמַּיִם	הִקְלוּ	לְרֵאוֹת	מֵאֵתוֹ	הַיּוֹנָה	אֶת-	וַיִּשְׁלַח
(から)	水が	引いたかどうか	見るために	自分の-もとから	鳩を	(を)	そして-送り出した
<a href="#">H4325</a>	<a href="#">H7043</a>	<a href="#">H7200</a>	<a href="#">H0854</a>	<a href="#">H3123</a>	<a href="#">H0853</a>	<a href="#">H7971</a>	

פְּנֵי הָאֲדָמָה:  
地面の 面から  
[H0127](#) [H6440](#)

ノアはまた地のおもてから、水がひいたかどうかを見ようと、彼の所から、はとを放ったが、

9

וַתָּשָׁב	רַגְלָהּ	לְכַף-	מְנוּחַ	הַיּוֹנָה	מִצְאָהּ	וְלֹא-
そして-帰った	足の	その-足の-裏の	休み-場所を	鳩は	見つけなかった	しかし-(まだ)-ない
<a href="#">H7725</a>	<a href="#">H7272</a>	<a href="#">H3709</a>	<a href="#">H4494</a>	<a href="#">H3123</a>	<a href="#">H4672</a>	<a href="#">H3808</a>

וַיִּשְׁלַח	הָאָרֶץ	כָּל-	פְּנֵי	עַל-	מַיִם	כִּי-	הַתִּבָּה	אֶל-	אֵלָיו
そして-伸ばした	地の	すべての	面の	(の)-上に	水が	なぜなら	箱船の	(の)-中へ	彼の-もとへ
<a href="#">H7971</a>	<a href="#">H0776</a>	<a href="#">H3605</a>	<a href="#">H6440</a>	<a href="#">H4325</a>	<a href="#">H8392</a>	<a href="#">H0413</a>	<a href="#">H0413</a>	<a href="#">H0413</a>	

הַתִּבָּה:	אֶל-	אֵלָיו	אֶתָּה	וַיָּבֵא	וַיִּקְחָהּ	יָדוֹ
箱船の	(の)-中へ	自分の-もとへ	それを	そして-入れた	そして-取った	その-手を
<a href="#">H8392</a>	<a href="#">H0413</a>	<a href="#">H0413</a>	<a href="#">H0853</a>	<a href="#">H0935</a>	<a href="#">H3947</a>	<a href="#">H3027</a>

はとは足の裏をとどめる所が見つからなかったので、箱舟のノアのもとに帰ってきた。水がまだ全地のおもてにあったからである。彼は手を伸べて、これを捕え、箱舟の中の彼のもとに引き入れた。

10

מִן-	הַיּוֹנָה	אֶת-	שָׁלַח	וַיִּסַּף	אֲחֵרִים	יָמִים	שִׁבְעַת	עוֹד	וַיַּחַל
(から)	鳩を	(を)	送り出した	そして-再び	別の	日を	七つの	さらに	そして-待った
<a href="#">H3123</a>	<a href="#">H0853</a>	<a href="#">H7971</a>	<a href="#">H3254</a>	<a href="#">H0312</a>	<a href="#">H3117</a>	<a href="#">H7651</a>	<a href="#">H5750</a>		

הַתִּבָּה:  
箱船から  
[H8392](#)

それから七日待って再びはとを箱舟から放った。

11

טָרַף	זֵית	עֵלֶה-	וַהֲנֶה	עֶרֶב	לְעֵת	הַיּוֹנָה	אֵלָיו	וַתָּבֵא
ちぎり取った	オリーブの	葉を	そして-見よ	夕方の	時に	鳩は	彼の-もとへ	すると-来た
<a href="#">H2965</a>	<a href="#">H2132</a>	<a href="#">H5929</a>	<a href="#">H2009</a>	<a href="#">H6153</a>	<a href="#">H6256</a>	<a href="#">H3123</a>	<a href="#">H0413</a>	<a href="#">H0935</a>

הָאָרֶץ:	מֵעַל	הַמַּיִם	קָלוּ	כִּי-	נֹחַ	וַיֵּדַע	כַּפִּיָּהּ
地から	(から)	水が	引いたと	(と)-それが	ノアは	すると-知った	その-くちばしに
<a href="#">H0776</a>	<a href="#">H4325</a>	<a href="#">H7043</a>	<a href="#">H5146</a>	<a href="#">H3045</a>	<a href="#">H6310</a>		

はとは夕方になって彼のもとに帰ってきた。見ると、そのくちばしには、オリーブの若葉があった。ノアは地から水がひいたのを知った。

וַיִּחַל עוֹד שִׁבְעַת יָמִים אַחֲרַיִם וַיִּשְׁלַח אֶת-הַיּוֹנָה 12  
 鳩を (を) そして-送り出した 別の 日を 七つの さらに そして-待った  
[H3123](#) [H0853](#) [H7971](#) [H0312](#) [H3117](#) [H7651](#) [H5750](#) [H3176](#)  
 וְלֹא-יָסְפָה שׁוּב-אֵלָיו עוֹד:  
 しかし-(もう)-ない 帰って-こなかった 帰って 彼の-もとへ もう  
[H3808](#) [H3254](#) [H7725](#) [H0413](#) [H5750](#)

さらに七日待つてまた、はとを放ったところ、もはや彼のもとには帰ってこなかった。

וַיְהִי בְּאַחַת וָשֶׁשׁ-מֵאוֹת שָׁנָה בְּרֵאשִׁוֹן בְּאַחַד לְחֹדֶשׁ הַחֲרִבּוֹ הַמַּיִם 13  
 水は 乾いた その-月の 第一の 第一の-月に 年目の 百の 六-百 第一と そして-あった  
[H4325](#) [H2320](#) [H0259](#) [H7223](#) [H8141](#) [H3967](#) [H8337](#) [H0259](#) [H1961](#)  
 מֵעַל הָאָרֶץ וַיִּסַּר נֹחַ אֶת-מִכְסֵה הַתֵּבָה וַיִּהְיֶה חֲרִבּוֹ וְהָיָה וַיֵּרָא נֹחַ וַיִּרְאֵהוּ 2  
 乾いていた そして-外した 地から (から) (を) ノアは 箱船の 覆いを 箱船の 覆いを (を) ノアは 乾いていた  
[H2009](#) [H7200](#) [H8392](#) [H4372](#) [H0853](#) [H5146](#) [H5493](#) [H0776](#)  
 פְּנֵי הָאֲדָמָה:  
 地面の 面が  
[H0127](#) [H6440](#)

六百一歳の一月一日になって、地の上の水はかれた。ノアが箱舟のおおいを取り除いて見ると、土のおもては、かわいていた。

וּבְחֹדֶשׁ הַשְּׁנִי בַשְּׁבַעָה וְעֶשְׂרִים יוֹם לְחֹדֶשׁ יַבֵּשָׁה הָאָרֶץ:  
 [区切] 地は 乾いた その-月の 日に 二十の 第-二十七の 第二の そして-月の  
[H0776](#) [H3001](#) [H2320](#) [H3117](#) [H6242](#) [H7651](#) [H8145](#) [H2320](#)

二月二十七日になって、地は全くかわいた。

וַיְדַבֵּר אֱלֹהִים אֶל-נֹחַ לֵאמֹר:  
 すると-語られた 神は (に)-対して ノアに 言って  
[H0430](#) [H1696](#) [H0413](#) [H5146](#) [H0559](#)

この時、神はノアに言われた、

וַיֵּצֵא מִן-הַתֵּבָה אֹתָהּ וְאֶתְּךָ וְאֶתְּךָ וְאֶתְּךָ 16  
 出よ (から) お前と お前と お前と  
[H3318](#) [H8392](#) [H0802](#)  
 וְנָשֵׁי-בְנֵיךָ אִתְּךָ:  
 そして-息子たちの-妻たちを 息子たちの お前と-共に  
[H0802](#) [H0854](#)

「あなたは妻と、子らと、子らの妻たちと共に箱舟を出なさい。

כָּל-חַיָּה הַחַיָּה אֲשֶׁר-בְּכָל-מִקְוֵה בְּשָׂר׃ 17  
 生き物を すべての (の)-と ところの (の)-と いる お前と-共に 肉なる-もの 鳥も  
[H3605](#) [H3605](#) [H0854](#) [H3605](#) [H1320](#) [H5775](#)  
 וּבְבֵהֵמָה וּבְכָל-וְיִרְמֵשׁ הָרֶמֶשׁ עַל-הָאָרֶץ [קֵיטִיב] הוּצֵא (הוּצֵא)  
 そして-家畜も そして-すべての (の)-上を 這う 這う-ものも 地 (の)-上に 連れ出せ  
[H0929](#) [H3605](#) [H7431](#) [H7430](#) [H0776](#) [H3318](#) [H3318](#)  
 וְאֶתְּךָ אִתְּךָ וְאֶתְּךָ וְאֶתְּךָ וְאֶתְּךָ וְאֶתְּךָ  
 お前と-共に 地 (の)-上に 地 (の)-上に 地 (の)-上に 地 (の)-上に 地 (の)-上に  
[H0854](#) [H0776](#) [H8317](#) [H6509](#) [H0776](#) [H0776](#)

あなたは、共にいる肉なるすべての生き物、すなわち鳥と家畜と、地のすべての這うものつを連れて出て、これらのものが地に群がり、地の上にふえ広がるようにしなさい」。

בְּנֵי	וְנָשָׂאֵי	וְאִשְׁתּוֹ	וּבְנָיו	וְנֹחַ	וַיֵּצֵא־	18
息子たちの	そして-息子たちの-妻たちが	その-妻と	そして-その-息子たちと	ノアは	そこで-出た	
	<a href="#">H0802</a>	<a href="#">H0802</a>		<a href="#">H5146</a>	<a href="#">H3318</a>	
					אִתּוֹ:	
					彼と-共に	
					<a href="#">H0854</a>	

ノアは共にいた子らと、妻と、子らの妻たちつを連れて出た。

עַל-	רוֹמֵשׁ	כָּל	הָעוֹף	וְכָל-	הָרֶמֶשׂ	כָּל-	הַחַיָּה	כָּל-	19
(の)-上を	動く-ものも	すべての	鳥も	そして-すべての	這う-ものも	すべての	獣も	すべての	
	<a href="#">H7430</a>	<a href="#">H3605</a>	<a href="#">H5775</a>	<a href="#">H3605</a>	<a href="#">H7431</a>	<a href="#">H3605</a>		<a href="#">H3605</a>	
				מִן-הַתֵּבָה:	מִן-	יָצָא	לְמִשְׁפַּחְתֵּיהֶם	הָאָרֶץ	
				箱船から	(から)	出た	その-種類に-従い	地の	
				<a href="#">H8392</a>		<a href="#">H3318</a>	<a href="#">H4940</a>	<a href="#">H0776</a>	

またすべての獣、すべての這うもの、すべての鳥、すべて地の上に動くものは皆、種類にしたがつて箱舟を出た。

הִטְהוֹרָה	הַבְּהֵמָה	וּמִכָּל	וַיִּקַּח	לְיַהוָה	מִזִּבְחַת	וְנֹחַ	וַיִּבֶן	20
清い	家畜の	すべての-中から	そして-取った	主の-ために	祭壇を	ノアは	そして-建てた	
<a href="#">H2889</a>	<a href="#">H0929</a>	<a href="#">H3605</a>	<a href="#">H3947</a>	<a href="#">H3068</a>	<a href="#">H4196</a>	<a href="#">H5146</a>	<a href="#">H1129</a>	
	בְּמִזְבְּחָ:	עֹלֹת	וַיַּעַל	הַטְהָר	הָעוֹף	וּמִכָּל		
	祭壇の-上で	全焼の-供え物を	そして-ささげた	清い	鳥の	そして-すべての-中から		
	<a href="#">H4196</a>		<a href="#">H5927</a>	<a href="#">H2889</a>	<a href="#">H5775</a>	<a href="#">H3605</a>		

ノアは主に祭壇を築いて、すべての清い獣と、すべての清い鳥とのうちから取つて、燔祭を祭壇の上にささげた。

לְבוֹ	אֶל-	יְהוָה	וַיֹּאמֶר	הַנִּיחַחַ	רִיחַ	אֶת-	יְהוָה	וַיִּרַח	21
その-心に	(に)-対して	主は	そして-言われた	快い	かおりを	(を)	主は	すると-かいだ	
	<a href="#">H0413</a>	<a href="#">H3068</a>	<a href="#">H0559</a>	<a href="#">H5207</a>	<a href="#">H7381</a>	<a href="#">H0853</a>	<a href="#">H3068</a>	<a href="#">H7306</a>	
וַיֶּדַר	כִּי	הָאָדָם	בְּעֵבוֹר	הָאֲדָמָה	אֶת-	עוֹד	לְקַלֵּל	אֶסְפָּ	לֹא-
思いは	なぜなら	人の	せいで	地面を	(を)	再び	呪うことは	再び-(しない)	もう-(しない)
<a href="#">H3336</a>		<a href="#">H0120</a>	<a href="#">H5668</a>	<a href="#">H0127</a>	<a href="#">H0853</a>	<a href="#">H5750</a>	<a href="#">H7043</a>	<a href="#">H3254</a>	<a href="#">H3808</a>
	עוֹד	אֶסְפָּ	וְלֹא-	מִנְעָרָיו	רַע	הָאָדָם	לֵב		
	再び	再び-(しない)	そして-もう-(しない)	若い-ときから	悪である	人の	心の		
	<a href="#">H5750</a>	<a href="#">H3254</a>	<a href="#">H3808</a>			<a href="#">H0120</a>			
	עָשִׂיתִי:	כְּאֲשֶׁר	חַי	כָּל-	אֶת-	לְהַכּוֹת			
	行ったように	(の)-ように	生き物を	すべての	(を)	打ち-滅ぼすことは			
				<a href="#">H3605</a>	<a href="#">H0853</a>	<a href="#">H5221</a>			

主はその香ばしいかおりをかいで、心に言われた、「わたしはもはや二度と人のゆえに地をのろわない。人が心に思い図ることは、幼い時から悪いからである。わたしは、このたびしたように、もう二度と、すべての生きたものを滅ぼさない。

וְחָם	וְקָר	וְקָצִיר	וְזָרַע	וְהָאָרֶץ	יְמֵי	כָּל-	עוֹד	22
そして-暑さと	そして-寒さと	そして-収穫と	種蒔きと	地の	日々-の限り	すべての	なお	
<a href="#">H2527</a>	<a href="#">H7120</a>		<a href="#">H2233</a>	<a href="#">H0776</a>	<a href="#">H3117</a>	<a href="#">H3605</a>	<a href="#">H5750</a>	
	וְשָׁבְתוּ:	לֹא	וְלַיְלָה	וַיּוּם	וַיִּחַרֶף	וַיִּקְוֶן		
	やまない	(しては)-ならない	そして-夜は	そして-昼と	そして-冬と	そして-夏と		
	<a href="#">H3808</a>		<a href="#">H3915</a>	<a href="#">H3117</a>	<a href="#">H2779</a>	<a href="#">H7019</a>		

地のある限り、種まきの時も、刈入れの時も、暑さ寒さも、夏冬も、昼も夜もやむことはないであろう」。